

洗面化粧台 取付説明書

PLB90C1

■取り付けされる方へお願い

- ※この取付説明書の記載内容を外れた設置が原因で生じた故障および不具合は、保証期間内であっても保証の対象となりません。
- ※取り付けが終わったら（取付後の点検）のチェックリストに基づいて再確認してください。
- 再確認後、試運転と（お客様への取り扱い説明）をおこなってください。
- ※取り付け後、取扱説明書（保証書付）の保証書に必要事項を記入し、必ずお客様に渡してください。
- ※取り付けで発生した廃棄物は、廃棄物処理法の法令にしたがって処理をおこなってください。

1 安全上のご注意

- ※取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けしてください。
- ※表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

- 警告** この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
- 注意** この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

- この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。
- この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

警告

- ・ミラーキャビネットは窓の前など、開口部には取付しない。水やほこりで感電することがあります。
- ・組み込まれる電気機器、水栓金具などについては、それぞれの説明書および製品本体の注意事項を守り、正しく設置する。設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。
- ・ミラーキャビネットやサイドキャビネットの取り付けは、建築壁の構造を確かめて、説明書どおり正しくおこなう。取り付けを誤ると、使用中に取り付けビスがゆるみ、落下して、ケガをするおそれがあります。
- ・電気工事・水道工事は関連する法令、規定にしたがって、必ず「有資格者」がおこなう。接続や、固定が不完全な場合は、火災や感電・水漏れの原因になることがあります。電気配線は直結接続しないでください。

注意

- ・洗面化粧台・ミラーキャビネットの改造はしない。改造して取り付けると強度が落ちてキャビネットが落下、転倒してケガをするおそれがあります。
- ・取付設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、蝶番にゆるみがないことを必ず確認する。扉の取り付けに異常があると使用中に落下して、ケガをするおそれがあります。
- ・排水管の接続部は、必ずシールをおこなう。不快な臭いや、カビの発生原因になることがあります。
- ・取り付け下地材は堅木で、虫食いやくされのない木材（厚さ30mm、幅90mm以上）を使用する。キャビネット落下のおそれがあります。

お願い

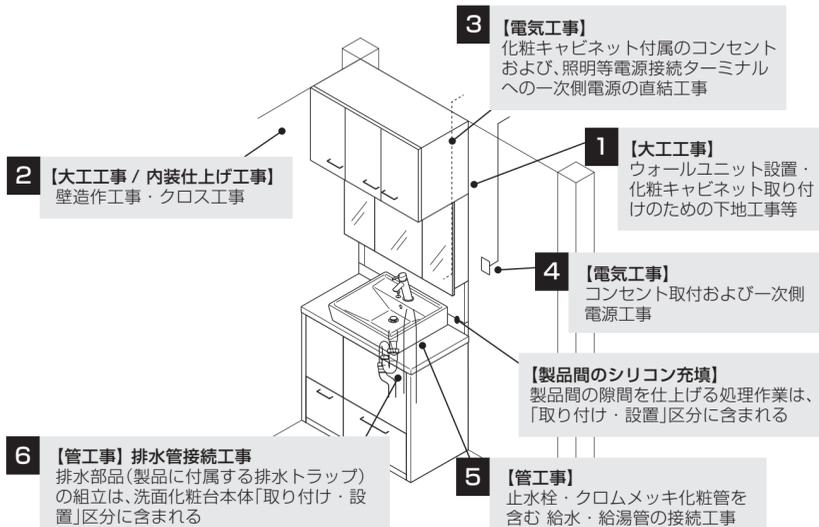
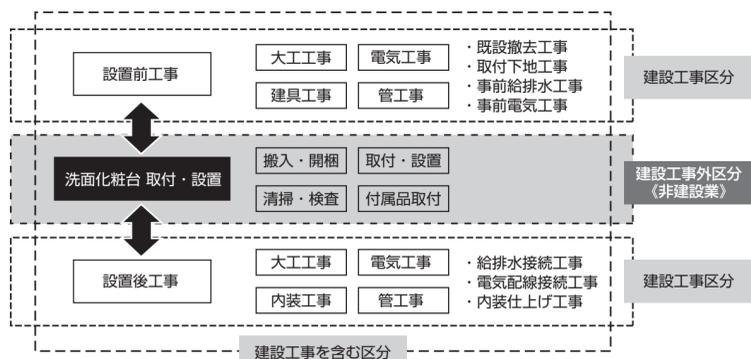
- ・湿気の多い場所は、木部が水を含んで腐ったりするおそれがあるので避けてください。また、ミラーキャビネットの照明部分には防湿加工が施されていないので、浴室内では使用できません。
- ・洗面ボウル、キャビネットに傷をつけたり、物を落としたり、洗面ボウルの上に乗らないでください。
- ・寒冷地では給水、給湯管が凍結し、使用不能になったり破損することがあります。各地水道局の指導にしたがって配管工事をしてください。
- ・直射日光が当たる場所、火気の近くは、変色・変形のおそれがあるので避けてください。
- ・設置する取り付け壁の強度を確認し、不足している場合は補強する。

2 取り付け前の確認

■「洗面化粧台の取り付け・設置」とユニット工事区分

警告

- 本説明書は、洗面化粧台の本体組み立て・設置と関連工事（建設工事）である大工事、電気工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。流通業者（販売店）を通して「本体の組み立て・設置」を行う場合は、建設工事部分と「洗面化粧台の本体組み立て・設置」を区別して行ってください。設置前工事、設置後工事の一部でも含む場合は、建設工事になります。工事区分（責任施工範囲）、工事スケジュール等を作成せず工事をする現場でのトラブルが発生します。



洗面化粧台の取り付けにあたっては、必ず建築基準法や消防法などの法律に従って正しく進めてください。また、地域の条例等も必ず遵守してください。

①入荷チェック

届いた製品について、破損がないか、品番・個数を確認してください。もし、間違いがあった場合は、至急納入元にご連絡ください。

②開梱

各部材を開梱します。同梱の部品・部材や説明書・保証書等はないように、わかる場所に置いてください。各部材は、傷つけないように保護し、作業がしやすいように保管しておいてください。開梱時において、万一梱包や製品に、キズ等がある場合は、取り付け前に、ご購入先まで連絡をお願いします。取り付け後のお申し出に対しては、当社としては、責任を負いかねますのでご了承ください。

③現場のチェック

図面どおり現場ができていないか、必ず確認してください。※図面と大幅に違って、現場での対応が困難なときは、販売業者にご連絡のうえ、指示を仰いでください。

- 搬入路および、作業スペース
- 壁、床、天井の仕上げおよび寸法、直角、水平、垂直の状態
- 窓の仕上がり寸法（壁の仕上げ面より追ってください）
- 出窓枠、ドア枠位置、窓の高さ
- キャビネットの取り付け下地材の位置
- 排水位置
- 電気配線位置
- 給水・給湯位置

3 付属品の確認

・ミラーキャビネット付属品（製品別同梱数量）

番号	名称	形状	EK-LCM-753H EK-LCM-753LH(A)	EK-LEM-753H EK-LEM-753LHA	EK-LSAM-7V(L)S(H) -6V(L)S(H)	EK-LSBM-7SS(H) -6SS(H)
1	皿タップ φ4×40					
	皿タップ φ4×50			2	2	
	ナベタップ φ5×110		2			
	皿タップ φ4×60		2			
2	化粧キャップ			4	4	6
	ナベ木 φ4×50				4	6
3	クッションテープ		1	1	1	1
4	歯ブラシ立て		1	1		
5	棚トレー		6	2	4	4
6	照明カバー		1	1		
					2	
7	ドライヤーフック				1	

・洗面化粧台付属品

番号	名称	数量	形状	番号	名称	数量	形状
1	水栓	1		5	シーリングプレート	1	
2	ゴムせん・ヘアキャッチャー	1		6	丸ビスφ4.1×50 (ワッシャー付き)	2	
3	排水トラップ	引き出し、開き扉仕様	1		7	取扱説明書・取付説明書・ 取り付け寸法図	各1
		オールスライド収納仕様	1				
4	排水管 防臭キャップ	引き出し・開き扉仕様	1		8	フレキ管 (LSAB-70D・60D)	2
		オールスライド収納仕様	1				
				9	水受けトレー (オールスライドには同梱されていません)	1	

ご注意——シャワー水栓の場合

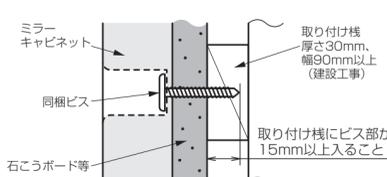
- ・洗髪シャワー機能付きの化粧台には、水受けトレーを同梱しています。水受けトレーは、化粧台内部シャワーホースの真下に取り付けてください。オールスライド収納タイプは、水受けタンク内にシャワーホースを入れてください。

4 給排水位置図・壁固定用棧位置図

同梱の「取り付け寸法図」を参照してください。

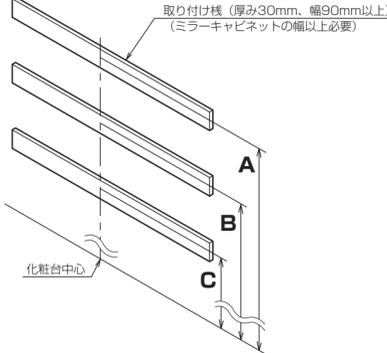
■使用ビスと壁構造の確認

- ・有効ビス部が取り付け棧に15mm以上入るビスを使用してください。落下して、ケガをするおそれがあります。
- ・同梱のビスで上記内容が確保できない場合は、現場にて手配対応をお願いします。



■ミラーキャビネット取り付け桟の確認

- ・ミラーキャビネットを取り付けるための桟が所定の位置にあることを確認してください。



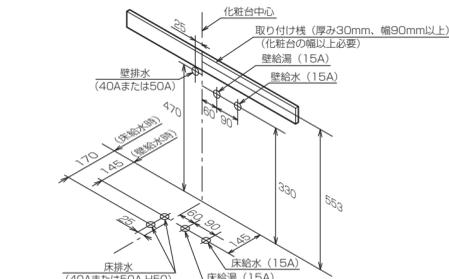
	A	B	C
EK-LCM-753H EK-LCM-753LH(A)	1815	-	825
EK-LEM-753H EK-LEM-753LHA	1660	-	825
EK-LSAM-7V(L)S(H) -6V(L)S(H)	1762	1292	822
EK-LSBM-7SS(H) EK-LSBM-6SS(H)	1762	1292	822

電気温水器は、付属の取付説明書を参照してください。

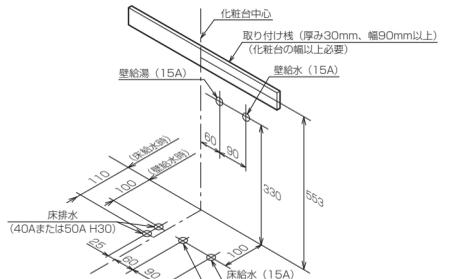
■配管工事の確認

- ・給水、給湯配管および排水配管が所定の位置に、取り出していることを確認してください。

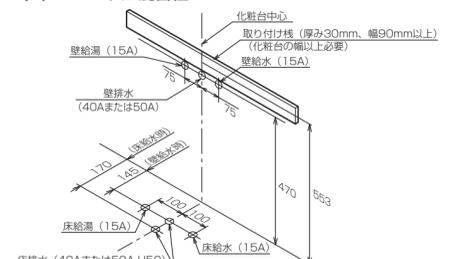
(1) シングルシャワー（引き出し、開き扉仕様）



(2) シングルシャワー（オールスライド収納仕様）



(3) 2ハンドル混合栓



5 洗面化粧台の取り付け

取り付け前確認

取り付け床面の木くず、ごみがなく、床面に凹凸があると、扉の段違いを生じることがあります。

取り付け

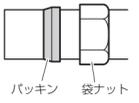
- 洗面ボウルに水栓金具を取り付け、取付場所に仮置きしてください。
※水栓金具の取り付けは、水栓に同梱の説明書を参照してください。
2ハンドル混合水栓は、同梱のフレキ管を使用してください。
- 給水・給湯管・排水管の接続および止水栓(別売品または現場調達)を取り付けてください。〔管工事〕
①背板または、点検口フタに給水・給湯管用の穴をあけます。(φ30mm程度)
②背板または、点検口フタに排水管用の穴をあけます。(φ35mm程度)
※オールスライド収納タイプはφ70mm程度
③排水管は、排水トラップ取り付け後、防臭キャップ、シーリングプレートをはめ込み、点検口穴に差し込んでください。

集合住宅、高層住宅の場合、防臭キャップの替わりに躯体側の排水配管の仕様に応じた接続部材(現場調達)で、接続してください。

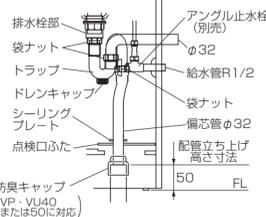
配管例

注意

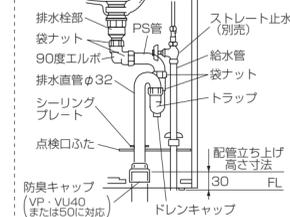
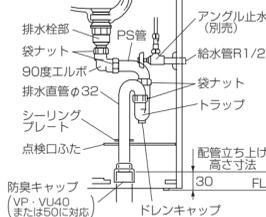
- 配管接続完了後に排水部のナットに緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、手で強く締め直してください。排水部が緩んでいると、水漏れの原因になります。
- 右図のように、パッキンの向きを正しく装着してください。
- 袋ナットは手締め程度で締め付けてください。
締め付けトルク：3N・m (30kgf・cm)



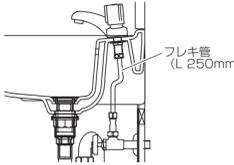
〔引き出し、開き扉仕様〕



〔オールスライド収納仕様〕



2ハンドル混合水栓の配管例



注意

- 2ハンドル混合水栓の場合は、左図の様に同梱のフレキ管(L250mm)を曲げて配管する。
- 袋ナットにパッキンを入れて、モンキーレンチなどで締め付ける。
締め付けトルク：15N・m (150kgf・cm)

- 洗面化粧台を丸木ビス(同梱)で壁面に固定します。取り付け位置は、同梱の「取り付け寸法図 洗面化粧台」を参照してください。
- 洗面ボウルと壁の突き合わせ部をシリコン剤でシールしてください。
(※シリコン剤は防カビ剤入りを使用する。)



- 配管接続部や器具内に水漏れがないか、以下の手順で確認してください。
①ボウルにゴム栓を取り付け、ボウルを満水状態にしてください。
②ボウルが満水になったら、吐ハンドルを全開にして、水を流し続けオーバーフロー・排水管接続部からの水漏れのなきことを確認してください(約5分通水)。
※水圧の高い所では、オーバーフロー能力が不足したり、ボウル面からの水漏れの原因になるため、止水栓で吐水量を調整してください(目安10L/分)。
③ゴム栓を外しボウルに溜まっている水を一気に流し、排水管接続部からの水漏れのなきことを確認してください。
④吐水量調整後、ゴム栓を取り付けられない状態で、吐水を全開にし配管接続部の水漏れのなきことを確認してください(約5分通水)。
- 洗面化粧台が壁面にしっかり固定されていることを確認してください。

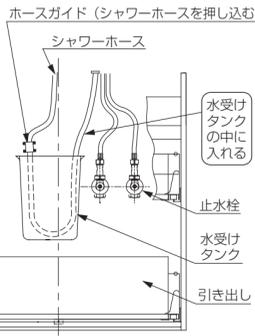
取り付け後の確認

シングルシャワー水栓の場合は

- 排水トラップの位置を調整
シャワーホースを出し入れして、排水トラップに引っ掛からないように、調整してください。
- 水受けトレーの取り付け
洗面化粧台内部のシャワーホースの真下に、水受けトレーを取り付けておいてください。
- オールスライド収納タイプは、水受けタンク内に、シャワーホースを入れてください。

注意

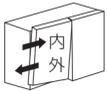
- 床立ち上げの給水・給湯・排水配管の場合、配管の引き回しが引き出しに干渉しないようにする。
干渉すると、引き出しが納まらなくなります。



7 扉の調整方法

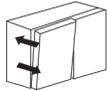
左右調整 — 扉の目地をそろえる

- ②のビスをゆるめた後、①のビスで調整します。
- 右に回すと内方向に、左に回すと外方向に動きます。
- 調整後、②のビスを固く締め付けます。



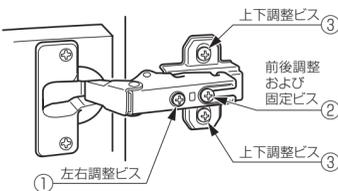
前後調整 — 扉の前後の傾きを直す

- ②のビスをゆるめ、扉の前後を調整します。
- 調整後、②のビスを固く締め付けます。



上下調整 — 扉の上下ずれを直す

- ③のビスを1/4回転ゆるめた後、調整します。
- ③のビスをゆるめ過ぎると扉が外れるので注意してください。
- 調整後、③のビスを固く締め付けます。



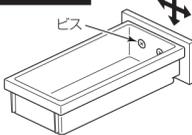
注意

- ①②以外のビスには絶対触れないこと。
- 調整後、必ず締め付け固定する。
②のビスをゆるめたままにすると扉が外れることがあります。

8 引き出しの調整方法

EK-LSAB-71の場合

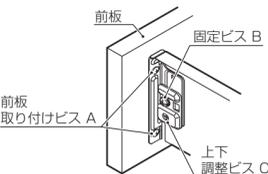
- 引き出し内側のビス2か所をゆるめ、前板の左右・上下のずれを調整した後、ビスを締め付けてください。



注意

- 前板の調整は必ず手まわしのドライバーでおこなう。
充電式インパクトドライバーを使用すると、調整ビスがきかなくなるおそれがあります。

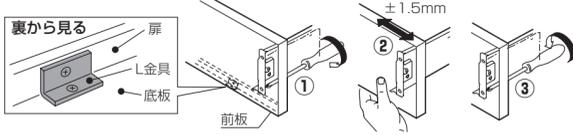
9 オールスライド収納タイプ前板の調整方法



注意

- 前板取り付けビスAは、締め付けすぎない。ビスが効かなくなるおそれがあります。
- 調整後は固定ビスBを必ず締め付け、前板を固定する。
固定ビスBをゆるんだままにしておくと、前板が落下するおそれがあります。

- 左右調整
前板取り付けビスAをゆるめ、前板の左右のズレを調整する。調整後、前板取り付けビスAを締め付ける。



- 上下調整
固定ビスBをゆるめ、上下調整ビスCで前板の上下の傾きを調整する。調整後、固定ビスBを締め付ける。

注意

引き出しを抜き差しする時、無理な力をかけすぎないようにする。調整後、L金具を取り付けする時、締めすぎないように必ず手締めする。

6 ミラーキャビネットの取り付け

- ミラーキャビネット下端の壁よりに、付属のクッションテープを貼ってください。
- 洗面化粧台のバックガード上端に、ミラーキャビネット下端を合わせ、先に上部をビスで仮固定した後、下部を仮固定してください。

注意



- 「3.付属品の確認」参照して、使用するビスの長さや場所を確認する。
使用するビス長さを間違えると取り付け不良になります。

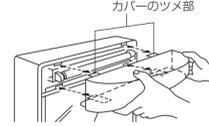
- EK-LCM-753H、EK-LCM-753LH(A)、EK-LEM-753H、EK-LEM-753LH(A)の場合
・鏡上部にはφ4×50(40)、またはφ5×110
・鏡下部にはφ4×60 ビスを使用する。
- EK-LSAM-7/6V(L)S(H)、EK-LSBM-7/6SS(H)の場合
・φ4×50 ビスを使用する。

- ・板壁の場合 付属のビスを使用してください。
- ・コンクリート・タイル壁の場合、取り付け位置に下穴をあけ、市販のコンクリートプラグを挿入し、ビス固定してください。

- 取り付け壁面の凹凸調整後、固定してください。
・取り付け壁の凹凸や、電源コードのかみこみがある場合は、鏡がゆがんだり、割れたり、扉が閉まらないおそれがあります。
- 「3.付属品の確認」参照して、化粧キャップを取り付けてください。
- 照明カバーを取り付けてください。

<EK-LCM-753H、EK-LCM-753LH(A)、EK-LEM-753H、EK-LEM-753LH(A)の場合>

- 蛍光灯の周波数切替スイッチを取り付け地域の周波数に合わせてください。
※LED仕様の場合は、この作業はありません。
- 照明カバーを右図の要領で取り付けください。(ツメ部を本体の穴に差し込みます)



〔照明カバーの外し方〕
カバーのツメ部を上下に押しながら、手前に引いて取り外します。

<EK-LSAM-7/6V(L)S(H)、EK-LSBM-7/6SS(H)の場合>

- 照明カバーは、ツメ部を本体の穴に差し込み、カバーを下げて取り付けます。

〔照明カバーの外し方〕
カバーを上を持ち上げてから、手前に引いて取り外します。

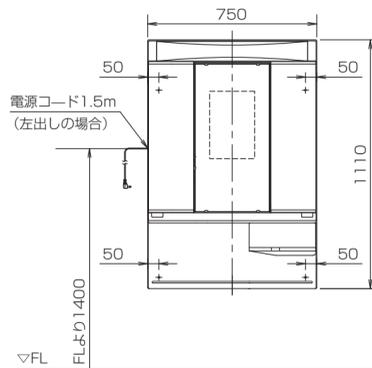
ミラー受けの確認

1面鏡タイプは、鏡やキャビネットを清掃したときにミラー受けが動いている場合があるので、その際はまっすぐに戻してください。

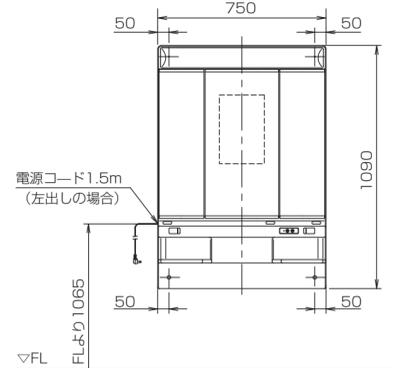


ミラーキャビネットの電源コード位置

■EK-LEM-753H EK-LEM-753LH(A)



■EK-LCM-753H EK-LCM-753LH(A)



取り付け後の点検

取り付けが終わったらチェックリストに基づいて必ず再確認をおこなってください。

部 位	チェック項目	良・否
取付条件	1 図面どおりに取り付けられているか	
洗面化粧台	1 洗面ボウルに傷、割れはないか	
	2 キャビネットは、すべてしっかり連結されているか	
	3 扉はガタつきなく、確実に蝶番が座に取り付けてあるか	
	4 扉、引出しのチリが適切で、段差がなく、開閉やスライドは良好か	
	5 扉に傷、凹み、汚れはないか	
	6 コーキング処理は適切で、きれいに仕上がっているか	
ミラーキャビネット	1 ミラーキャビネットは、壁にしっかり固定されているか	
	2 ミラーキャビネットに、ゆがみやガタつきはないか	
	3 キャビネット固定用ビスに、化粧キャップは取り付けられているか	
電気工事	1 電源工事は、指定された工事がおこなわれているか	
	2 照明は点灯するか	
	3 コンセントの通電を確認したか	
	4 曇り止めヒーターは作動するか	
	5 排水トラップは、確実に締め付けられているか	
給水・給湯・排水配管	1 排水管との接続に、防臭キャップもしくは、排水管アダプターを取り付けたか	
	2 給水・給湯配管の接続は間違いはないか	
	3 各配管接続部からの水漏れはないか	
	4 止水栓は、止水栓で適切な量に調整する(約10L/分)	
水栓	1 水栓に傷はないか	
	2 シャワーホースの引出し、収納が容易におこなえるか	
お客様への説明	1 正しく快適に使用してもらうため、説明したか	
	2 汚れている箇所はないか	
その他	1 養生はしてあるか	
	2 専用電源(ブレーカ)は切ったか	
	3 寒冷地の場合、水抜き操作はおこなったか	
	4 本体および機器の取扱説明書はあるか	
	5 取扱説明書・取付説明書は必ずお客様にお渡しください	
	6 取付説明書・取付説明書は必ずお客様にお渡しください	
・オーダーNo.	・取付店	
・取付日	・取付責任者	